

しいなひろみ

20年の福祉現場の経験を区政に活かし
提言実行。親子4代地元です。



楽しいな通信



本会議
(録画)

新型コロナワクチン接種関係



一般質問にて(令和3年6月1日:要約)

1. 予約が出来ない方への対応と未接種者へのアプローチはどの時期にどのように予定しているのか?
2. 接種を行ったか否かの集計等の実施の予定は?
3. 車いす利用等の移動困難者には福祉タクシー利用の補助金支給を求む

区長
答弁

集団・個別の接種件数を増加、最新の医療機関情報を発信、希望する全ての方が予約できるように支援予定。接種件数は、国のシステムを通じて区のHP等で情報発信の予定。高齢者の新型コロナワクチン接種の際、介護保険給付の特例で、通所系事業所での接種会場を經由した送迎や訪問介護における通院等乗降介助の利用が可能となった。福祉タクシー券は障がいのための歩行困難な方へ交付があり、新たに区独自の助成は考えていません。

しいなの
一言

予約センターに何度電話をかけてもつながらない、1回目の予約は取れたが2回目の予約が取れない、かかりつけ医は接種を行っていない等、大変お困りの方々がいらっしゃいます。他区では車いす利用者に対し接種時の補助金支給も開始され安心安全に接種が実施できる取り組みを始めています。介護保険の通院等乗降介助は新規利用なら契約の締結から必要です。又、ご家族の同乗はできません。そもそも事業者が少ないため現実的な案なのか疑問です。

交通安全対策について求む!

子どもたちのために
安全運転



東武練馬駅近くの電柱に巻かれている告知です。



1. 自転車保険加入の促進とパパママ自転車安全教室の実施を
2. 東武練馬駅前の時間車両通行止めの早急な実施を

区長
答弁

生活スタイルに取り入れられるような車体点検及び教室などの仕組みづくりなど行っていく。令和2年4月に東京都が保険加入を義務化したことにより、認知度が上がったため、今後も加入しやすい環境づくりに努めたい。時間車両通行止めの規制の実施日においては、警察での準備が整い次第行っていく予定。

しいなの
一言

昨年4月から自転車の保険加入が義務付けられ、安全基準にクリアした自転車については幼児も乗車可能です。幼児用座席に乗せる事ができる子どもの年齢制限も6歳未満~小学校入学前までに緩和されました。5月18日に近隣商店街や町会の掲示板に東武練馬駅前の午後4時から8時までの車両通行止め事前周知が出されました。区民の皆様の命を守る為に安全で早急な実施を求めます。

年をとっても認知症になっても障がいがあっても心地よく暮らせる対策を求む

1. 迷子高齢者緊急レスキューシステム実施と
二次元コードシールの導入・見守りキーホルダー識別番号をシール等に活用を
2. 障がい者紙おむつ支給制度の抜本的な改善を
3. 避難所は福祉視点に立った備品の配置を
4. 福祉避難所の現実的な対策と子ども避難所の設置を
5. 認知症前駆症状MCI状態での介入を
6. フレイル予防の指標となる血清アルブミン検査の後期高齢者医療検診の必要性について



区長
答弁

緊急一時保護の制度設計に取り組み、見守りキーホルダーの普及周知や個人識別番号の活用を進めていく方針。障がい者紙おむつ利用者へアンケートの実施にてニーズ把握を行いカタログ式の導入を検討する。平成18年度からは洋式型のマンホールトイレを各避難所に導入し、トイレの洋式化を進めている。区内特別支援学校との協定で対象者を身体障がい児、知的障がい児及びその家族とし、在学中の児童生徒が被災した場合の福祉避難所として活用することを想定している。後期高齢者医療健診ではフレイル予防を目的とした問診項目の追加、健診により総合的に診断できる体制を開始。栄養状態を測る血清アルブミン値は追加する方向で検討中。

しいなの
一言

緊急レスキューシステムが迷子高齢者の安全へとつながりますので、引続き提言していきます。障がい者紙おむつは他区ではカタログ式が中心で、おしりふきや手袋も選べるようです。本区の避難所備蓄品の仮設トイレも多くは和式です。日常生活では大多数の方が洋式トイレを利用しています。高齢者は和式トイレでのしゃがみ姿勢が難しく排便の際にいきんだ後の立ち上がり時に血圧の変動を起こしやすいのが特徴です。また、一般の避難所にいづらくなつた認知症等の高齢者や障がい者はどこへ行ったらよいのでしょうか・・・。後期高齢者の栄養状態を把握する指標としての血清アルブミン検査は、数値としては把握しやすく有要です。

MCIとは???

軽度認知障害は認知症の一步手前の状態でMCI (Mild Cognitive Impairment) とも呼ばれます。認知症における物忘れのような記憶障害が出るものの症状はまだ軽く、特徴としては基本的な日常生活には支障がないという事です。早期の段階で介入支援することで認知症への発症が遅くなるともいわれています